

# 届け 世界の果てまでも

令和2年 5月 7日

No. 4

文責 校長 飯久保一男

☆この通信は、学校の再開以降は、各家庭に配付させていただきますが、臨時休業中は、ホームページ上での公開とさせていただきます。

## 学校再開の延長…

またしても学校の再開が延長となってしまいました。山梨県内においても、全国においても、感染が落ち着いてきているように思いますので、今回こそは、このまま新型コロナウイルス感染症が収束し、終息に向かい、学校が再開できることを願っています。各家庭におかれましても見通しのなかなかもてない中、子どもたちの心身の健康に気を配りながら、様々なことを自粛して過ごされていることと思います。今が我慢のときだと思われれます。もう少しの辛抱をお願いします。

様々な報道がなされています。中には、不安をあおるような報道もありますので、子どもたちも少なからずそれらを見聞きし、不安になっている面もあるかと思えます。また、親子ともどもストレスを抱えていると思えます。4月に配付した「ほけんだより」にも掲載されていましたが、これらを乗り越えるため、国立成育医療研究センターが親子でできることなどを紹介しています。

<https://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>

上記のアドレスから見ることができます。参考になればと思います。

海外の様子の記事を見ますと、外出に際して法的な拘束があるなど、厳しい規制を設けている国が多くあります。日本は、政府や県の自粛のお願いという形で、法的にどうこうされるということはなくとも、ゴールデンウィークであっても、人々は自粛をして家で過ごしました。こんな国はほかにはないのではないかと思います。これが日本の素晴らしさであり、伝統であると思えます。これは、長年における日本の教育の力でもあると私は思っています。

例えば…「日本人はなぜ行列に、きちんと順序を守って並ぶことができるのか？」という内容を「所さんのニッポンの出番」という番組が扱っていました。日本人であれば常識ですが、海外では「並ぶ」という概念があまりないようです。海外の学校では、子どもに「背の順に並ぶ」「整列する」ということをあまり教えません。日本人のこの姿は「理想像」だと外国の方が言っていました。割り込みが横行している国では、前の人との距離を少しでもあけると割り込まれるとのこと。順番を守り、割り込みをしないで並ぶ習慣は日本の誇れる文化の一つなのです。番組では理由として次の2点をあげていました。



- ①子どもをのころから学校などで整列することを身に付けさせているからキレイに並べる。
- ②江戸時代に、いくさでの抜け駆け禁止令が出たことで、社会全般に抜け駆けするのがよくないという風習ができたから順番を守ることができる。

日本人が当たり前に行っている行動の原点をさかのぼると、こんなに昔から、そして教育の効果も、受け継がれてきていたのです。日本人のマナーや行動は、歴史や教育に裏打ちされた伝統でもあるのです。

さらに…今は「ソーシャルディスタンス」などと言われ、2m間隔で並んでいるスーパーマーケットのレジなどの様子が報道されています。これも日本人であるからできるのだと思います。

最近の若者は…などと礼儀やモラルが指摘されることがありますが、日本人がもっている倫理観や道徳心、モラルやマナーは世界に誇れるものであると思っています。そんな日本であれば、このまま、収束→終息となれると思うのです。科学的な根拠は全くありません。そう信じているという私のただの願望です。

東日本大震災の後でさえ、暴動・略奪などは起こらず、肉親を失った人や家を失った人もいる悲しみの中でも、被災地の人々は、落ち着いて行動し、静かに列をつくって配給を待ちました。この映像が紹介され、多くの外国人を驚嘆させたということです。被災地ではなくとも、計画停電があり、ガソリンをはじめとする様々なものが不足しましたが、人々は我慢をし、乗り越えてきました。東日本大震災後にまつわる話を少しだけ紹介させていただきます。今を乗り越える勇気をもらえるように思います。

○世界唯一の核被爆国。大戦にも負けた。毎年台風がくる。地震だってくる。津波もくる…。小さい島国だけど、それでもそのたびに日本は立ち上がってきた。

○4時間の道のりを歩いて帰るときに、「トイレのご利用どうぞ!」と書いたスケッチブックを持って、自宅のお手洗いを開放していた女性がいた。日本って、やはり世界一温かい国だよね。

○大渋滞で1回の青信号で1台しか前に進めない中、譲り合い、穏やかに運転している姿に感動した。交通が完全マヒすることもあったが、10時間の間、お礼以外のクラクションの音を耳にしなかった。日本がますます好きになった

○避難所で「分け合って食べます」と、4人家族なのに3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に、日本人の誇りを見た。

○子どもがお菓子を持ってレジに並んでいたけれど、順番が近くなり、レジを見て考え込み、レジ横にあった募金箱にお金を入れて、お菓子を棚に戻して出て行った。店員さんがその子どもの背中に向けてかけた、ありがとうございます、という声が震えていた。

○物が散乱しているスーパーで、落ちているものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転を再開した電車、混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り…。この光景を見て外国人は絶句をしたとのことだ。

○朝からスーパーに並んだ。私の前には母親と泣きべそをかいた子どもがいた。子どもは大事そうに壊れたDSを持っていて、時折ボタンを押しては反応が無いことに落胆している様子だった。母親との会話を聞くと、どうやらそのDSはサンタから貰ったらしかった。子どもがすごく悲しそうで、ゲームができないことよりサンタが怒ってないかを気にしていた。周りも私も何とも言えない気持ちになっていたところ、1人の中学生くらいの男の子が子どもに近づいて、自分のDSを渡した。しかも「サンタさんから頼まれた」と言って、壊れたその子のDSと自分のDSを交換した。

子どもは大喜びだった。母親は涙ぐみながら頭を下げていた。余談だが、この様子を見ていたらしいおばちゃんたちが、その中学生に自分達が買った食料を分けていた。

